

込みを行った1症例。第233回日本小児科学会北陸地方会, 1990, 12, 金沢。

- 100) 津幡真一, 中村 浩, 渡辺 健, 小野安生, 木幡 達, 山田 修, 神谷哲郎, 西村恒彦, 高宮 誠: 小児の肥大心における左室拡張期動態—Tc 99m心プールイメージングによる検討—。第101回日本小児科学会大阪地方会, 1990, 12, 大阪。
- 101) 林美和子, 橋本郁夫, 津幡真一, 宮崎あゆみ, 市田路子, 岡田敏夫, 阿部吉伸, 山本雅美, 浜中英樹, 村上 新, 上山武史: 右室二腔症の1症例。第20回富山県小児科集談会, 1990, 12, 富山。
- 102) 窪田博道, 豊田由紀, 鈴木好文, 洲崎 健, 山谷真己: 二度の中枢神経再発後, 寛解導入に成功し Therapy off となった ALL の一例。厚生連糸魚川病院集談会, 1990, 12, 糸魚川。
- 103) 山谷真己, 洲崎 健, 橋本郁夫, 岡田敏夫: 6; 9 転座-t (6; 9) (p 23; q 34) -を示し, 末期に著明な低リン血症を伴った急性非リンパ性白血病 (FAB; M1) の一例。第233回日本小児科学会北陸地方会, 1990, 12, 金沢。
- 104) 小西 徹, 長沼賢寛, 本郷和久, 村上美也子, 山谷美和, 岡田敏夫: てんかん児における既往熱性痙攣の臨床特徴—てんかん症候群による比較—。第13回熱性痙攣懇話会, 1990, 12, 東京。
- 105) 稲場 進, 石原俊二, 豊田由紀, 黒瀬京子, 大嶋忠幸, 高橋 勉, 高井里香, 吉田礼子, 岡田敏夫: 小児期 IgA 腎症における ACE 阻害剤の尿蛋白減少効果。第233回日本小児科学会北陸地方会, 1990, 12, 金沢。
- 106) 足立雄一, 吉住 昭, 村上巧啓, 松野正知, 足立陽子, 萱原昌子, 尾上洋一, 高野雅子, 岡田敏夫, 五十嵐隆夫: 呼吸困難を伴わない喘鳴, あるいは慢性咳嗽を主訴とした乳幼児の気道過敏性。第23回日本小児呼吸器疾患学会, 1990, 12, 高崎。
- 107) 尾上洋一, 高野雅子, 村上巧啓, 岡田敏夫, 足立雄一, 吉住 昭, 五十嵐隆夫, 阿部時也, 小田良彦: イソプロテレノール持続吸入療法における噴霧法による効果の検討。第23回日本小児呼吸器学会, 1990, 12, 高崎。
- 108) 黒瀬京子, 高田恒郎, 尾上洋一, 足立雄一, 原 正則, 柳原俊雄, 桑原春樹, 吉住 昭, 小川 且, 宇野由紀子: 手足口病に無菌性髄膜炎を合併した79例の臨床的検討。第149回日本小児科学会新潟地方会, 1990, 12, 新潟。
- 109) 足立雄一, 尾上洋一, 黒瀬京子, 柳原俊雄, 高田恒郎, 吉住 昭, 渡辺重行: 吸入麻酔により

救命し得た喘息重積発作の1例。等149回日本小児科学会新潟地方会, 1990, 12, 新潟。

◆ その他

- 1) 嶋尾 智: こども通信「増える子供のストレス病」ぴいぶる 18: 4, 1990。
- 2) 村上巧啓: アレルギー相談室Q & A ユスリカ喘息について。アレルギーの臨床 10: 1001, 1990。

精神神経医学

| | |
|-----|-----------|
| 教授 | 倉 知 正 佳 |
| 助教授 | 倉 田 孝 一 |
| 講師 | 清 水 昭 規 |
| 講師 | 細 川 邦 仁 |
| 助手 | 三 川 辺 義 雄 |
| 助手 | 手 金 英 道 |
| 助手 | 手 葛 野 洋 一 |
| 助手 | 手 谷 井 靖 一 |
| 助手 | 手 柴 田 良 子 |
| 助手 | 手 松 井 三 枝 |

◆ 著 書

- 1) 倉知正佳: 脳血流。「精神分裂病—基礎と臨床」木村 敏他編, 222-230, 朝倉書店, 東京, 1990。

◆ 原 書

- 1) Yoshida Y., Nishikawa T., Tani Y., and Takahashi K.: Frontal decortication decreases the affinity of N-(1- [2-thienyl] cyclohexyl) [³H] piperidine binding to rat striatum. Brain Research 499: 179-183, 1989.
- 2) Kurata K., and Shibata R.: Biphasic effect of locally applied apomorphine and 2, 3, 4, 5-tetrahydro-7, 8-dihydroxy-1-phenyl-1H-3-benzazepine on the release of striatal dopamine investigated by means of brain dialysis. Neuroscience Letters 117: 264-268, 1990.
- 3) Emori K., Minabe Y., and Kurachi M.: A biphasic change of afterdischarge threshold during the kindling process. Brain Research 509: 355-357, 1990.
- 4) Emori K., Minabe Y., and Kurachi M.: Effects of anticonvulsants on hippocampus-generating seizures. Brain Research 511: 217-221, 1990.
- 5) Ashby Jr. C., Edwards E., Minabe Y., and Wang R. Y.: Functional characterization of 5-HT₃-like receptors in the rat medial prefrontal cortex.

- European J. Pharmacol. 183:1958,1990.
- 6) Tanii Y., Nishikawa T., Umino A., and Takahashi K.: Phencyclidine increases extracellular dopamine metabolites in rat medial frontal cortex as measured by in vivo dialysis. *Neuroscience Letters* 112:318-323, 1990.
 - 7) 福谷祐賢, 中村一郎, 小林克治, 山口成良, 松原六郎, 伊崎公徳, 倉知正佳: 孤発性オリブ橋小脳萎縮症の小脳歯状核の定量形態学的検討. *神経研究の進歩* 34:148-155, 1990.
 - 8) 内山千鶴子, 内山伸治, 進村園生, 平松 博, 倉知正佳: 左の一側性失語を呈した脳梁損傷の二例—特に漢字と仮名の差—. *神経心理学* 6:49-56, 1990.
 - 9) 角田雅彦, 藤井 勉, 谷井靖之, 大田良子, 安井伸一, 江守賢次, 湯浅 悟, 清水昭規, 倉知正佳: Alzheimer型痴呆によるX線CT所見—病期の進行との関係および¹²³I-IMP SPECT所見との比較—. *臨床精神医学* 19:625-631, 1990.
 - 10) 松井三枝: 対人不安と対自他認知体系—Self-identity Systemの検討—. *心理学研究* 61:94-102, 1990.
 - 11) 湯浅 悟, 葛野洋一, 角田雅彦, 松井三枝, 江守賢次, 三辺義雄, 藤井 勉, 倉知正佳: 精神分裂病のSPECT所見—臨床症状との関連と経時的変化—. *臨床精神医学* 19:1840-1848, 1990.
- ◆ 症例報告
- 1) Minabe Y., Kadono Y., and Kurachi M.: A schizophrenic syndrome associated with a midbrain tegmental lesion. *Biological Psychiatry* 27:661-663,1990.
 - 2) Kobayashi K., Kurachi M., Gyoubu T., Fukurani Y., Inao G., Nakamara I. and Yamaguchi N.: Progressive dysphasic dementia with localized cerebral atrophy. *Clin. Neuropathol.* 9:302-308,1990.
 - 3) 三辺義雄, 葛野洋一, 倉知正佳: MRI中脳被蓋所見を伴う精神分裂病の一例. *精神医学* 32:91-92, 1990.
 - 4) 三辺義雄, 倉知正佳: てんかん非治療下での強制正常化現象を呈した一例. *精神医学* 32:196-198, 1990.
 - 5) 倉田孝一: 退却神経症の一例—その夢分析について—. *臨床精神病理* 11:75-84, 1990.
 - 6) 藤井 勉, 清水昭規, 倉知正佳, 青木さつき, 武田茂憲: 論理—文法的操作の障害(Luria)の1例. *精神医学* 32:383-390, 1990.
 - 7) 数川 悟, 倉知正佳: 行動療法による不安障害の治療例. *北陸神経精神医学* 4:31-36, 1990.
 - 8) 金 英道, 倉知正佳: 治療経過中にせん妄状態を呈したrestless legs症候群の一例. *精神医学* 32:775-780, 1990.
 - 9) 堤 学, 岸 秀雄: 向精神薬によりRhabdomyolysisを来した精神分裂病の一例. *精神医学* 32:767-772, 1990.
 - 10) 能登谷晶子, 鈴木重忠, 倉知正佳, 木下 昭, 古川 亘: 語聾を伴った外傷性失語の長期経過. *失語症研究* 10:198-204, 1990.
 - 11) 金 英道, 倉知正佳, 本田 徹: REM睡眠に関連した異常行動を呈した高齢者の一例. *精神医学* 32:1121-1124, 1990.
 - 12) 金 英道: REM睡眠に関連した異常行動を示した高齢者の一例—睡眠ポリグラフィー自動解析による検討—. *脳波と筋電図* 18:425-431, 1990.
- ◆ 総 説
- 1) 倉知正佳, 湯浅 悟, 鈴木道雄: 精神分裂病と画像診断—局所脳血流を中心に—. *精神医学* 32:609-617, 1990.
 - 2) 倉知正佳: 内因性と呼ばれた生物心理学的領域について. *臨床精神病理* 11:197-204, 1990.
- ◆ 学会報告
- 1) 金 英道, 数川 悟, 倉知正佳, 永森文夫, 高原 明: ナルコレプシー患者における葛根湯の効果について—MSLT法によるClimipramineとの比較—. 第115回北陸精神神経学会, 1990, 1, 金沢.
 - 2) 松井三枝, 葛野洋一, 角田雅彦, 倉知正佳, 河合義治, 藤井 勉, 谷口保子, 舟坂雅春: 精神分裂病患者への短縮版WAISの適用—妥当性とプロフィールの検討—. 第115回北陸精神神経学会, 1990, 1, 金沢.
 - 3) 数川 悟, 倉知正佳: 行動療法による不安障害の治療例. 第115回北陸精神神経学会, 1990, 1, 金沢.
 - 4) 引網純一, 金 英道, 倉田孝一, 倉知正佳: 自律神経症状と精神症状を呈し, 恐慌性障害が疑われた局在関連性てんかんの1例. 第115回北陸精神神経学会, 1990, 1, 金沢.
 - 5) 倉知正佳, 金 英道, 葛野洋一, 湯浅 悟, 大田良子, 松井三枝: Mini-Dementia Scaleとパソコンを用いたLine Orientation Test—痴呆の早期診断法の開発—. 厚生省痴呆疾患対策調査研究事業平成元年度研究発表会, 1990, 3, 東京.
 - 6) 湯浅 悟, 藤井 勉, 葛野洋一, 角田雅彦, 松

- 井三枝, 三辺義雄, 江守賢次, 柴田良子, 倉知正佳: 精神分裂病の ^{123}I -IMP SPECT 所見一臨床症状との関連および経時的变化について一. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 7) 鈴木道雄, 川崎康弘, 山口成良, 倉知正佳: 精神分裂病障害の局所脳血流と CT 所見との関連について. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 8) 倉田孝一, 柴田良子, 倉知正佳: Apomorphine による Dopamine 放出の 2 相性変化—Microdialysis 法による検討一. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 9) 金 英道, 葛野洋一, 湯浅 悟, 大田良子, 松井三枝, 倉知正佳: Mini-Dementia Scale とパソコンを用いた Line Orientation Test 一痴呆の早期診断法の開発一. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 10) 谷井靖之, 西川 徹, 橋本篤久, 日比野英彦, 高橋清久: Phencyclidine によって出現する異常行動と N-Methyl-D-Aspartate 受容体アロステリック調節部位との関連性について. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 11) 角田雅彦, 湯浅 悟, 葛野洋一, 清水昭規, 倉知正佳: 分裂病患者の開瞼時眼球運動について—Parkinsonism 患者との比較および SPECT 所見との関連一. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 12) 安井伸一, 倉知正佳: Haloperidol 急性投与のラット脳グルコース利用に及ぼす影響について. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 13) 柴田良子, 倉田孝一, 倉知正佳: 前頭葉破壊ラットの行動に及ぼす Dopamine agonist の影響. 第12回日本生物学的精神医学会, 1990, 3, 大津.
- 14) 角田雅彦, 清水昭規, 倉知正佳: 分裂病患者の開瞼時眼球運動—WAIS-R の絵画完成問題施行時一. 第116回北陸精神神経学会, 1990, 6, 金沢.
- 15) 松井三枝, 葛野洋一, 角田雅彦, 倉知正佳, 河合義治, 藤井 勉, 谷口保子, 舟坂雅春: 精神分裂病患者の WAIS 所見と臨床症状との関連について. 第116回北陸精神神経学会, 1990, 6, 金沢.
- 16) 藤井 勉, 本山 浩, 倉知正佳: 頭頂葉性純粋失書の 1 例. 第116回北陸精神神経学会, 1990, 6, 金沢.
- 17) 金 英道, 数川 悟, 倉知正佳, 永森文夫, 高原 明: ナルコプレー患者における葛根湯の効果について—MSLT 法による Clomipramine との比較一. 第15回日本睡眠学会, 1990, 6, 鳥取.
- 18) 葛野洋一, 倉知正佳: 抗うつ剤による悪性症候群に仮性痴呆を呈した大うつ病の 1 例. 第117回北陸精神神経学会, 1990, 9, 富山.
- 19) 角田雅彦, 湯浅 悟, 倉知正佳, 藤井 勉: 右頭頂皮質と右海馬付近に焦点を認めた難治性てんかんの 1 例. 第117回北陸精神神経学会, 1990, 9, 富山.
- 20) Kurachi M., Tsunoda M., and Kadono Y.: Single photon emission computed tomography in schizophrenia. The International Meeting of Neuroimaging, 1990, 9, Gotenba.
- 21) 倉知正佳, 松原六郎: 皮質性・限局性主病変を有する痴呆 (Pick 病). 第14回日本神経心理学学会, 1990, 9, 外古屋.
- 22) Tanii Y., Nishikawa T., and Takahashi K.: Allosteric Agonists for NMDA Receptor Complex Attenuate PCP-Induced Abnormal Behaviors. 17-th Congress of Collegium Internationale Neuro-Psychopharmacologium, 1990, 9, Kyoto.
- 23) Kurachi M., Yuasa S., Tsunoda M., and Kadono Y.: Clinical symptoms, eye movements, and single photon emission computed tomography in schizophrenic patients. The Satellite Symposium of the 17th C. I. N. P.: New Trends in Schizophrenia and Mood Disorders Research, 1990, 9, Kyoto.
- 24) Sakurai Y., Kurachi M., Kadono Y., Shibata R., and Kurata K.: Reaction time in schizophrenic patients and in medial frontal lesioned rats. The Satellite Symposium of the 17th C. I. N. P.: New Trends in Schizophrenia and Mood Disorders Research, 1990, 9, Kyoto.
- 25) Tanii Y., Nishikawa T., Hashimoto A., and Takahashi K.: Stereospecific Effect of Allosteric Agonists for N-Methyl-D-Aspartate Receptor Complex on POP-Induced. Hyperactivity in the Rat. The Satellite Symposium of the 17th C. I. N. P. New Trends in Schizophrenia and Mood Disorders Research, 1990, 9, Kyoto.
- 26) Kim Y. and Kurachi M.: Computerized Polysomnographic System. International Workshop On EEG/EP And Brain Mapping In Neuro-psychiatry And Psychopharmacology, 1990, 9, Osaka.
- 27) 金 英道, 倉知正佳, 堀田素志, 松浦弘毅, 神川康子: 睡眠徐波の自動解析における EET 法と波形認識法の関連について. 第20回日本脳波筋電図学会, 1990, 10, 東京

- 28) 堀田素志, 松浦弘毅, 金 英道: ニューラルネットワークによる睡眠段階判定の試み. 第20回日本脳波筋電図学会, 1990, 10, 東京.
- 29) 谷井靖之, 西川 徹, 海野麻未, 高橋清久: D-Alanine は phencyclidine の生化学的並びに行動学的作用に拮抗する. 第20回日本神経精神薬理学会年会, 1990, 10, 山梨.
- 30) 谷井靖之, 西川 徹, 海野麻未, 高橋清久: ラット前頭葉皮質ドーパミンニューロンに対する phencyclidine の作用—Microdialysis法による検討—. 第19回日本神経精神薬理学会年会, 1989, 10, 福岡.
- 31) Minabe Y., Ashby C. R. Jr., and Wang R. Y.: Comparison of the effects of various typical and atypical antipsychotic drugs on the suppressant action of 2-methyl serotonin on medial prefrontal cortical cells in the rat. 20th Society for Neuroscience, 1990, 11, St. Louise.
- 32) 砂原伸行, 西田勇人, 倉知正佳, 左前大脳動脈領域の広範な梗塞により, 非定型な失語症を呈した1例. 第14回日本失語症学会, 1990, 11, 東京.
- 33) 砂原伸行, 松田 崇, 倉知正佳: 左中前頭頭に主病巣を有し, さらに右半球損傷の関与が示唆された書字障害の1例. 第14回日本失語症学会, 1990, 11, 東京.
- 34) 江守賢次, 三辺義雄, 倉知正佳: ラットによる低頻度電気刺激キンドリング法. 第24回日本てんかん学会, 1990, 11, 那覇.
- 35) 引網純一, 金 英道, 倉田孝一: 恐慌性障害が疑われた局に関連性てんかんの1例. 第24回日本てんかん学会, 1990, 11, 那覇.
- 36) 柴田良子, 倉田孝一, 倉知正佳: 両側前頭葉ドーパミン破壊ラットの行動の変化. 第22回神経系薬物治療研究報告会, 1990, 12, 大阪.
- 37) 倉田孝一, 柴田良子, 倉知正佳: ドーパミン作動薬に対する線条体遊離の2相性変化. 第14回神経科学学術集会, 1990, 12, 京都.
- 38) 柴田良子, 倉知 照, 倉田孝一, 倉知正佳: 内側前頭葉ドーパミンのラット行動に及ぼす影響. 第14回神経科学学術集会, 1990, 12, 京都.

◆ その他

- 1) 倉知正佳: 精神分裂病への臨床的・基礎的アプローチ. 「金沢大学医学部神経精神医学教室80年の歩み」金沢大学医学部神経精神医学教室, 金沢, 7-14, 1990.
- 2) 倉知正佳, 金 英道, 葛野洋一, 湯浅 悟, 大田良子, 松井三枝: Mini-Dementia Scale とパソ

コンを用いた Line Orientation Test—痴呆の早期診断法の開発. 厚生省痴呆疾患対策調査研究費「痴呆疾患の病態解明に関する研究」平成元年度研究報告書, 35-40, 1990.

- 3) 倉田孝一, 柴田良子, 倉知正佳: 前頭前野および基底核のドーパミン遊離・代謝に対するハロペリドールの効果の相違の脳内透析法による検討, 精神薬療基金研究年報, 21: 203-209, 1990.
- 4) 金 英道, 倉知正佳: パソコンを用いた Line Orientation Test. 医学のあゆみ 154: 489, 1990.
- 5) 倉知正佳: もの忘れ. 「健康生活学」65-76, 富山TV, 富山, 1990.
- 6) 金 英道: 眠れない. 「健康生活学」5-18, 富山TV, 富山, 1990.

放射線医学

| | |
|-----|------|
| 教授 | 柿下正雄 |
| 助教授 | 瀬戸光 |
| 講師 | 二谷立介 |
| 講師 | 亀井哲也 |
| 助手 | 古本尚文 |
| 助手 | 渡邊直人 |
| 助手 | 辻志郎 |
| 助手 | 征矢敏雄 |
| 助手 | 中嶋愛子 |

◆ 原 著

- 1) Seto H., Kamei T., Futasuya R., Banba Y., Ihara F., Kakishita M., and Nanbu I.: Bone mineral density of the lumbar spine by dual photon absorptiometry: Age-related regression in normal Japanese subjects and fracture threshold in osteoporosis. Radiation Med. 8: 61-65, 1990.
- 2) Mori H., Shiba T., Matsuda H., Tsuji S., and Hisada K.: Characteristics of the binding of N-isopropyl-p-[125-I] iodoamphetamine in the rat brain synaptosomal membranes. Nucl. Med. Commun. 11: 327-331, 1990.
- 3) Matsuda H., Tsuji S., Oba H., Shiba K., Terada H., Kinuya K., Sumiya H., Mori H., and Hisada K.: Autoradiographic analysis of iodoamphetamine redistribution in experimental brain ischemia. J. Nucl. Med. 31: 660-667, 1990.
- 4) Matsuda H., Oskoie S.D., Kinuya K., Tsuji S., Tonami N., and Hisada K.: Tc-99m HMPAO